

香味園 上領茶舗

アナログ・受注型経営から、デジタル化・新領域へのチャレンジ

事業者概要

- ・事業承継者 上領 瑠美（35歳）
- ・従業員 1名
- ・所在地 鹿足郡津和野町後田口 519

支援団体

- ・津和野町商工会

経緯

1930年ごろに曾祖父が創業。地元特産のカワラケツメイ茶である「ざら茶」を販売。1970年代に町内の観光活性化に伴い売上拡大となったが、1990年代から売上が低下した。要因の一つにインターネットが普及し、ECマーケットが拡大する中、電話・FAX・ハガキといった既存の販売チャンネルに頼り、外部環境に合わせた販売チャンネルの開拓を行っていなかったことが考えられる。さらに、現代表が高齢となり製茶販売店の存続も危ぶまれた。「ざら茶」に惚れ込んだ大阪府出身の代表の孫が事業の承継を決意した。

取組内容

現在の主な顧客は観光客や既存の愛飲者であるが、観光客は減少し、既存の愛飲者は高齢化している。減少していく既存顧客に対応するため、新規顧客の開拓が必要となった。新規顧客の獲得に向けて、既存顧客からの受注販売型の経営状態から提案型の販売に変更し、営業力を強化していく。また、新商品開発により若年齢層向けの商品ラインナップを充実させる。

販売方法・広告展開においては、県助成事業を活用し、インターネットを通じた販売方法の導入や広報活動を行う。具体的には自社ホームページの開設、ECポータルサイト出店、SNSによる情報発信を行い、国内外への販路拡大を目指す。国内へは健康志向の高い女性へ情報を発信する。国外へは近年増加傾向にある緑茶市場へ情報を発信する。特に、同町を訪れる外国人の約半数がフランスであることからEU圏への販路拡大を目指す。

